

単位数	2単位	学科・学年・学級	2学年1～3組
教科書	「高校生の地理総合」 帝国書院 「新詳高等地図」 帝国書院	副教材等	「高校生の地理総合ノート」 (帝国書院)

1 学習の到達目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	1節 地球儀と地図	<p>① 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。</p> <p>地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付ける。</p> <p>② 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追及し課題を見いだす。</p>	<p>授業プリント 作業課題 生徒との対話 ワークブック 定期考査</p>
	5	1章 地図や地理情報システムと現代世界	2節 地図と地理情報システム		
		2章 結びつきを深める現代世界	1節 現代世界の国家と領域	<p>① 世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。</p> <p>② 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追及し課題を見いだす。</p>	<p>授業プリント 作業課題 生徒との対話 ワークブック 定期考査</p>
		2節 地図から見る国内や国家間の結びつき	中間考査		
	6	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解	序節 生活文化の多様性	<p>① 世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。</p> <p>② 地形の気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③ 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて主体的に追及し課題を見いだす。</p> <p>気候の違いは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p> <p>産業の発展は人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。</p> <p>宗教・民族・言語は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p>授業プリント 作業課題 生徒との対話 ワークブック 定期考査</p>
		1節 世界の地形と人々の生活			
		2節 世界の気候と人々の生活			
		3節 世界の産業と人々の生活			
		4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
第2学期	9	2部 1章のまとめ	5節 多様な生活文化と地理的環境 事例1 経済発展による生活文化の変化 事例2 他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 事例3 ヒンドゥー教と生活文化の関わり 事例4 乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 事例5 植民地支配の歴史と生活文化の変化 事例6 伝統の継承と生活文化の関わり 事例7 寒冷な気候と生活文化にみられる工夫 事例8 産業技術の発展と生活文化の関わり 事例9 開発の歴史と生活文化の関わり 事例10 結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 中間考査	急速な経済発展は、人々の生活や文化にどのような変化をもたらしたのだろうか。 交易の歴史や他地域との結びつきは、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。 宗教は、長い歴史を通じて人々の生活や文化とどのように関わってきたのだろうか。 乾燥した気候の下、どのような文化が生まれ、人々の生活はどのように変化してきたのだろうか。 植民地支配の歴史は、人々の生活、宗教や言語といった文化にどのような影響を与えたのだろうか。 受け継がれてきた伝統や宗教は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。 寒冷な気候での生活の工夫は、社会の変化とともにどのように変わってきているのだろうか。 産業技術はどのように発展し、人々の生活や文化とどのように関わっているのだろうか。 カトリックなどの文化を持ち込んだヨーロッパ人の進出や先住民の伝統は、現在の人々の生活や文化とどのように関わっているのだろうか。 他地域との結びつきとその変化は、人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	授業プリント 作業課題 生徒との対話 ワークブック 定期考査		
	10		11	2章 地球的課題と国際協力 序節 複雑に絡み合う地球的課題 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題 期末考査		① 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解する。 ② 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。	授業プリント 作業課題 生徒との対話 ワークブック 定期考査
12	12		3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え 2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 3節 気象災害と防災 4節 自然災害への備え 学年末考査	① 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みについて理解する。 ② どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し表現する。 ③ 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで、必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだす。 ① 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解し、その技能を身につける。 ② 事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ 生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。		授業プリント 作業課題 生徒との対話 ワークブック 定期考査	
学期	月		単元名	学習項目			学習内容や学習活動

### 3 評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

### 4 評価の方法

観点別に総合的に評価する。(知識・技能 / 思考力・判断力・表現力 / 学びに向かう主体性)

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

地理は世の中の様々な事象を総合的にとらえられるとても面白い学問です。「なぜ？」という問いを大切にしてください。また、地図は地理を学ぶ上でとても大事な道具です。いつでも見られるよう、手元に準備しておきましょう。